

平成24年3月26日

報道各位

中野製薬株式会社

これからは、ストレートパーマだってデザインを楽しめる
新ストレートパーマ「マークコンティ (MARCCONTI)」新発売

中野製薬株式会社（中野 耕太郎社長）は、エンドユーザーの様々な悩みを解決し、同時に個々のお客様のデザインニーズに対応することができる新ストレートパーマ「マークコンティ (MARCCONTI)」を3月26日（月）に発売します。

「マークコンティ (MARCCONTI)」という商品名は、「Make」＝「創造する」と「Continuation」＝「持続・継続」という言葉を合わせた造語で、『思い通りの美しいスタイルがいつまでも持続し、お客様の満足感（幸せ）が長く続きますように…』との願いを込めたものです。

サロンにおけるストレートパーマメニューは近年利用率が減少傾向にあり、同時にメニュー料金も下降傾向にあります。（2008年10,130円 ⇒ 2009年10,075円 ⇒ 2010年9,587円 NBBA調べ）

こうした背景には、従来のストレートパーマが「伸び」や「柔らかさ」、「髪質への対応」といった製品の基本的な性能面の向上を図ってきた一方で、そうした競争が中心となり、“お客様はサロンにヘアデザインを買いに来る”という本質への対応が後回しにされ、本来のエンドユーザーのデザインニーズに合った対応がなされてこなかった状況があると考えています。つまり、サロンがエンドユーザーにデザインの提案を行うことで「客単価をアップ」することができ、それが「サロンの生産性の向上」につながるような提案があまりなされてこなかったのではないかと弊社では分析しています。

実際、弊社が開発協力サロン様の顧客にストレートパーマに対する要望について調査を行ったところ、基本性能に関する項目よりも、「動きのあるヘアスタイルにしたい」というデザインに関するニーズが最も強く、従来品やそれを用いたサロン様の施術がそうしたニーズに十分対応できていないという現状が分かりました。従って、こうした状況から弊社では、今後のストレートパーマのキーワードとなるのは、「伸ばしたい（自然な動き）」＝基本性能の向上、プラス「動かしたい（動きのあるスタイル）」＝付加価値の提案、であると考えています。

以上から、今回の新ストレートパーマ「マークコンティ (MARCCONTI)」では、1) 「伸ばしたい (自然な動き)」=基本性能の向上と、2) 「動かしたい (動きのあるスタイル)」=付加価値の提案の2つを行うことをポイントに置いて、以下のような商品設計を行っています。

1) 「伸ばしたい (自然な動き)」=基本性能の向上

①ラインアップに頑固な縮毛にも対応が可能なアイテム「マークコンティ 120 クリームタイプ」を用意しました。このアイテムは、第1剤の主剤にチオグリコール酸を、第2剤に過酸化水素水を用いたもので、従来伸ばすことが難しかった頑固な縮毛にも対応することができます。

②3種類のアルカリ剤を独自のバランスで配合した「アルカリハイブリッド」という技術を用いて、施術時間を短縮すると同時に過軟化あるいは軟化不足を防ぎ、早い軟化速度と安心な施術を実現しています。

③新開発の「ストレートパーマ用ALCベース」を採用することで、不快臭のもととなるアンモニア臭を抑えています。

※ALCベースは、アニオン性液晶ベースのことで、弊社ヘアカラー剤「キャラデコ」に採用されているものです。その技術を応用した新ベースを開発し本品に採用しています。

④メロディヴェールの採用で、芯から柔らかい手触りの良い仕上がりを実現しています。

※「メロディヴェール」とは毛髪を包む薄い被膜を指し、第1剤に配合されたスコアヴェール (アニオン性PPT) が毛髪をやさしく包み込み、第2剤に配合された柔らかコンディショニング成分のノートヴェール (カチオン成分) がそれに結合し、毛髪に柔らかで滑らかな手触りを与えます。

2) 「動かしたい (動きのあるスタイル)」=付加価値の提案 (ストレート&カールの提案)

①設計が統一された幅広いラインアップで、しかもダメージを抑制する技術を組み込んでいますので使いやすく、根本と毛先でダメージの履歴の異なる毛髪を施術する場合など難易度の高い複雑な施術も可能です。

またアイテムの中の30は、毛先にカールデザインを施すためのアイテムで、ストレート&カールの提案が可能で、デザインの幅を広げることができます。

※既ストレート毛やダメージ毛などに対応する30、50。健康毛や軽度のダメージ毛対応の汎用タイプ100。新生部の強い縮毛をしっかり伸ばす120といったアイテムがあらゆる毛髪の施術を可能にしています。

②新開発のスコアヴェールにより、ストレートパーマ特有のダメージの原因となるランチオニンの生成を抑制します。(ランチオニンについては、下記の※を参照)

③複数のPPTを配合していますので、複雑なダメージを受けやすいストレート毛のダメージを抑制します。

※ランチオニンについて

通常、パーマ処理は毛髪中のシスチン結合の切断と再結合により行うものですが、縮毛矯正のような強い薬剤と高熱の処理が加わると、毛髪の内部に「ランチオニン」と呼ばれる結合が形成されます。この結合はシスチン結合のような可逆性 (シスチン結合が再結合により元の結合に戻るような性質) が無く、一度形成されるともう二度とシスチン結合に戻ることはできません。これによって、ストレートパーマ施術後にパーマのかかりが悪くなるなどの影響が出ることがあります。

商品の概要は以下の通り。

〈商品概要〉

□商品名&容量

【医薬部外品】

マークコンティ 120 クリームタイプ 400g
マークコンティ 100 クリームタイプ 400g

【化粧品】

マークコンティ 50 クリームタイプ 1液 400g
マークコンティ 50 クリームタイプ 2液 400g
マークコンティ 30 ローションタイプ 1液 400ml
マークコンティ 30 ローションタイプ 2液 400ml
マークコンティ 0 クリームタイプ 400g

□各アイテムの用途

【クリームタイプ】縮毛矯正／カール提案用

120 … 新生部の強い縮毛をしっかり伸ばすタイプ
100 … 健康毛や軽度の損傷毛のクセ毛を伸ばすタイプ
50 … ヘアカラー等により損傷した毛髪、細毛・軟毛に対応するタイプ
0 … クリームタイプの前処理剤

【ローションタイプ】カール提案用

30 … 毛先にカールデザインを施すためのアイテム

□発売日

平成24年3月26日（月）

□商品お問い合わせ先（誌面掲載用）

お客様相談センター 0120-075570

BRAND-NEW CREATIONを続けるNAKANOは、「Step for the dream」を具体化するためのサロンサポートの一環として、サロン顧客の中の上顧客に焦点を当てた「ロイヤルカスタマー戦略」をサロン様に提案させていただいております。今後、この提案を継続・深耕化していくことで、厳しい時代を生き残っていくためのサロン経営のサポートに役立て、サロン様が少しでも夢と希望を持っていただけるよう努めてまいりたいと考えております。

《この件に関するお問い合わせ先》

中野製薬株式会社 プランニング室（担当：山口、小野寺）
〒607-8141 京都市山科区東野北井ノ上町6番地の20
tel075-502-7216 fax075-581-3300